

LGBT法 連合会

平成28年参議院議員選挙に際して
LGBT（性的指向・性自認）をめぐる課題に関する
各立候補者の政策と考え方に関する調査

注：既回答者・回答内容を、赤字・太字にて表現しております。

平成28年 6月 28日時点

選挙区 神奈川県 候補者の回答結果

現時点での回答回収ご立候補者

自民党 三原じゅん子

中西健治

民進党 かねこ洋一

真山勇一

公明党 三浦のぶひろ

おおさか維新 丹羽大

共産党 **あさか由香**

社会民主党 **森ひでお**

問1 貴殿が今回の参議院議員選挙に立候補される際の「個人の選挙公約」に、何らかのLGBT支援・権利確保政策は既に含まれていますか？将来はいかがでしょうか？（単独回答）

1. LGBTの課題として、既に含まれている

あさか（共産）

2. 様々な少数者の支援・権利確保を謳う中に含まれている

3. 将来入る可能性はある

真山（民進）

4. 将来入る可能性はない

5. その他

森（社会民主）：党の中にLGBT当事者がいて、すでに学習会や「何ができるのか」などの議論などをおこなっている。

問 2 個人としての、LGBT 当事者への接し方について、お伺いします。ご家族や友人から LGBT であることを、もし告白（カミングアウト）されたら、あなたはどうなさいますか？（複数回答可）

<p>1. その人を尊重し応援したいと思う 真山（民進）、あさか（共産）、森（社民）</p> <p>2. 距離をおきたいと思う</p> <p>3. 差別や偏見で苦勞するだろうから、異性愛者としてや、戸籍上の性別のままで生きるように諭す</p> <p>4. 答えられない／分からない</p> <p>5. その他（具体的に： _____)</p>
--

問 3 LGBT 支援政策の下記の①－⑦の課題各々に関して、法制度や行政がどのように対応すべきか、ご自身のお考えを選び、ご記入下さい。

	1. 法律で義務化	2. 行政（省庁・自治体）の裁量	3. 現場の裁量	4. わからない	5. その他
① 性的指向・性自認と、LGBT 当事者の直面する困難について、広く社会に教育・啓発を行う	真山（民進） 森（社民） あさか（共産）				
	〔自由回答〕				
② 学校教育において、多様な性を学習する事を通じて、LGBT へのいじめ・差別を防止する	森（社民） あさか（共産）	真山（民進）			
	〔自由回答〕				
③ 国・自治体の各レベルで、LGBT（性的指向・性自認に係る）の困難解消に向けた、基本計画を策定し実施する	森（社民） あさか（共産）	真山（民進）			
	〔自由回答〕				
④ 学校・職場における、LGBT へのいじめ・	森（社民） あさか（共産）	真山（民進）			

ハラスメントの防止体制を確立する	産)				
	〔自由回答〕				
⑤ 困難を抱く LGBT に対する、相談・支援の仕組みを、学校・職場等に整備する	森 (社民) あさか (共産)	真山 (民進)			
	〔自由回答〕				
⑥ LGBT に対する (性的指向・性自認に係る)、差別や不利益取扱いを防止・禁止する法律やルールを制定する	森 (社民) あさか (共産)	真山 (民進)			
	〔自由回答〕				
⑦ 施設・職場・学校等にて、LGBT に配慮した、サービスや施設面の対応を推進する	森 (社民) あさか (共産)		真山 (民進)		
	〔自由回答〕				

問 4 世界では、現在 20 か国で同性婚が制度化され、他の多くの国・地域では同性間に適用できるパートナーシップ制度が広まっています。同性どうしの二人の場合、現行の日本の婚姻制度に当てはまらないため困難に陥る例が多く、異性間と同様・同等に、法的認知・サポートを受けられるようにする法制化を望む声が高まっています。どのような対応が望ましいとお考えですか？（複数回答可）

- | |
|--|
| <p>1. 同性間でも男女と同じ婚姻制度を適用できるようにすべきだ</p> <p>森 (社民)
あさか (共産)</p> <p>2. 現在の婚姻に加えて、別途同性間だけのためのパートナーシップ制度を設けるべきだ</p> <p>3. 現在の婚姻に加えて、(事実婚など異性間でも、) 同性間でも利用できるパートナーシップ制度を設けるべきだ</p> <p>真山 (民進)</p> <p>4. 各自治体が、条例や首長のリーダーシップにて、同性間の関係を認知する宣誓・証明等を行う仕組みを広げていくべきだ (渋谷区、世田谷区、伊賀市、宝塚市、那覇市、等の例にならい)</p> <p>5. こうした制度は異性間のものであるべきで特に必要ない</p> <p>6. 答えられない／分からない</p> |
|--|

7. その他（具体的に：

）

問5 貴殿が当選した暁には、様々な困難に直面する LGBT 当事者を支援する為、ひとりの国会議員としてどのような事が出来るとお考えでしょうか？ ご自由にお書き下さい。これまでのご経験や実績を踏まえてお書きいただいても結構です。

（自由記述）

真山勇一（民進）

民進党の LGBT 法推進に加え、超党派での問題解決に全力を尽くします。再選後も法と委員会を予定しておりますので、家族の新しいあり方を国会で提起し続けます。

あさか（共産）

LGBT 等により困難を抱えている当事者の方々が肩身の狭い思いで生活せざるを得なかったり、あるいは差別や偏見のためにありのままの自分を肯定できなかつたりすれば、それは健全な社会とは言えないと思います。マイノリティーと云われる人たちが暮らしやすい社会ほど、その社会のすべての構成員にとっても暮らしやすい社会だと思います。

私は、野党4党が共同で提案している「性的指向又は性自認を理由とする差別の解消等の推進に関する法案」を与党にも働きかけて成立させ、誰もが同じ一人の人間として、堂々と「自分らしさ」を主張でき、個性豊かに暮らせる社会を作ることを目指します。

森ひでお（社民）

同性婚は、男女間での婚姻と違って家族と認められず、様々な権利を得ることができない状況となっています。これをひとつずつ男女間の婚姻で得られるものと同じようにするために努力したい。

* 質問は以上です。記入漏れがないか念のためご確認の上、ご返送下さい。ご多忙の中、ご協力いただきありがとうございました。